



# タッチの活動を未来につなげるため、 目標150万円を目指して頑張ります！

NPO日本タッチ・コミュニケーション協会  
理事長 宇治木敏子

「育児不安の改善」「親子の心のふれあい」を推進するタッチの『乳幼児虐待の予防活動』は、今年で15年目を迎えます。これまでに受講された方は、延べ10万人に及び、その多くの方々から「もしも、あの時、タッチと出会えていなかったら・・・本当に助かりました」と、温かい感謝のお言葉をたくさん頂いて参りました。



特に出産直後は、ホルモンの変化、慣れない育児で疲労が重なり、突然の「怒り」の感情など出やすくなります。『怒り』は、過去の抑圧された怒りの感情が出てくるので、中々冷静にコントロールするのが難しく、落ち込んでしまうこともあります。

タッチは産前産後の子育て支援に特化した社会貢献団体です。タッチのプログラムを受講された約9割の方が、「肯定的な気持ちになれた」など、その効果が調査票に表れています。更に、タッチ設立当時に出会った子どもたちは、早いもので中学生です。その子どもたちのコミュニケーション力や問題解決能力の高さの報告を聞いた時に、タッチの活動の意義の重さを感じます。タッチの長期的効果は、これからです。そんなタッチの活動です！

未来に繋げたい活動だにご賛同頂けませんか。皆様の温かいご協力をお願い申し上げます。募金を賜りました皆さまには、以下の様な心ばかりの感謝の特典を準備しております。講座の詳細はHP、またチラシをご覧ください。ご参加頂くことも、ご支援となります。お申し込みは、事務局まで。お待ちしております。